

## 平成22年度

### 第1回 倫理・利益相反委員会 会議記録概要

日 時：平成22年 5月 6日（木）午後15：00～16：30
場 所：第3会議室
出席者： 委員長 富永 祐民 委 員 豊嶋 英明、岡村 幹吉、酒井 一、松村 隆雄、鳥羽 研二 野田 広、鈴木 隆雄、寺西 正美
欠席者： 委 員 玉腰 暁子
出席委員数/全委員数： 9人/10人
審議事項
申請課題数：再申請課題 1件 新規申請課題 2件 合 計 3件
その他審議事項は規程の改正について

#### 申請課題について

No. 1	受付番号：405 課 題 名： 頸髄症に対する椎弓形成術後軸性疼痛における頸椎カラー固定および心理的要素の関連 申 請 者：酒井 義人 審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。 審 査 結 果： 条件付き承認 （修正内容の確認をもって承認とする。） 〈条件〉 ・説明書の危険性についての記載の中で、具体的な対応が書かれていないので追加すること。その際、医師、理学療法士の指導のもと、誰が経過観察するのかも記載すること。
-------	--

No. 2	<p>受付番号：436</p> <p>課題名：創面蛋白を用いた褥瘡、皮膚潰瘍に対する評価方法と創傷薬理学の樹立</p> <p>申請者：磯貝 善蔵</p> <p>審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。</p> <p>審査結果：条件付き承認（修正内容の確認をもって承認とする。） 〈条件〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究計画書にも申請書の2、3、4、7、8、9に対応する事項を盛り込むこと。</li> <li>・対象者数算定の根拠を示すこと。（予備調査であればその旨記載すること）</li> <li>・対象者の選択基準、除外基準を示すこと。</li> <li>・申請書6．研究等の概要の箇所について、看護学的研究と記載があるが、米田先生の専門分野を記載するほうがよいと思われるため、そのように修正すること。</li> <li>・説明書に創部の写真撮影についての記載があるので、申請書の6．研究等の概要の箇所に具体的に記載すること。</li> <li>・申請書の8．研究等の対象及び実施場所について、愛知県立看護大学栄養代謝学研究室となっているが、研究計画書やCOI報告書等では愛知県立大学となっている為、修正をすること。</li> </ul>
No. 3	<p>受付番号：437</p> <p>課題名：地域在宅高齢者における軽度認知機能低下（MCI）者に対する認知機能低下抑制を目的とした無作為割付比較介入研究</p> <p>申請者：鈴木 隆雄</p> <p>審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。</p> <p>審査結果：承認</p>